



十日 パリ（木）在留邦人との夕食懇談会  
 フラン・スリユド上院訪問  
 デュアラード上院ル上院副議長との会談  
 ヴァラ昼食会文化会館視察  
 主催パリ日（金）カダラッシュユ着  
 十日 パリエター（国際熱核融合実験炉）サイ  
 ト視察 ヲラッシュユ発ニース着  
 カダラ（土）アンスティポリスサイエンス  
 十日 ソパーク視察 ローマ着  
 ニース（日）カスターティ等視察  
 十日 フラスカ（月）食品・栄養リサーチ研究所訪問  
 国立食マ在留邦人との昼食懇談会  
 一口マ日本文化会館視察  
 作家塩野七生氏との懇談  
 十日 イタリア上院訪問  
 ディーニ上院外交委員長との会談  
 ローマ（水）トリンクフルト経由）  
 十日 食科ノ大（フ）ラノクフルト経由）  
 ザグレブ（着）  
 十日 ベビッチ国会議長との会談  
 メシツチ大統領との会談  
 コソル副首相との会談  
 ミツァグレブ市内視察  
 ザ東副議長主催  
 十日 山日（金）イングラード地雷除去案件」  
 「ツエティングラード地雷除去案件」  
 視察



議 謝 伝 め を の E に 八 盟 准 す 大 鮮 に ア の 大 て 国 た が さ 接 請 出 ち 日 ア り 今 携

べ 七 長 始 の え の 表 こ ク U 百 十 に を ま ば を 問 、 ち 環 ぎ こ は と い 協 ら 見 し を メ 七 大 山 へ ち つ 後 を

ビ 月 を め 意 る 法 す れ 口 加 二 の 関 待 た ら 期 題 日 ア 環 境 な れ 、 国 旨 力 に て た 喜 シ 月 統 東 の ア つ 、 深

ッ 十 表 に 及 と 改 る に ア 盟 十 法 し っ 、 し 待 に 本 と 保 関 を 日 交 、 関 、 い い ん ッ 十 領 副 感 の あ 政 め

ち 七 敬 、 び と 正 旨 対 ち を の 改 て て べ く す 関 で し 護 心 受 本 が ま 係 山 た 旨 で ち 七 を 議 謝 自 り 治 て

国 日 訪 山 本 も に 発 し ア 目 法 正 も い ビ 、 る す 開 て が を け は あ た を 東 だ 述 お 大 日 表 長 の 然 、 い

会 午 問 東 年 に 精 言 、 訪 指 律 手 、 る ッ 特 と る 催 も 重 持 、 拉 る 、 深 副 く べ 受 統 午 敬 は 意 の 日 経 く

議 前 し 副 一 、 力 し べ 問 し 改 続 先 状 ち に の 六 さ ア 要 っ 山 致 ク 環 め 議 た た け 領 前 訪 、 を 美 本 濟 こ

長 、 議 月 ク の 口 に 。 ッ 歡 ク を 終 加 に 長 学 明 国 た り 題 い 副 害 ア 保 い よ に こ た の ク し 年 べ さ ら 始 を

と ク 会 長 の 口 に 。 ッ 歡 ク を 終 加 に 長 学 明 国 た り 題 い 副 害 ア 保 い よ に こ た の ク し 年 べ さ ら 始 を

の 口 談 は 議 ア 取 ち 迎 口 予 了 盟 あ か 技 が 協 G ア だ る 議 者 ち 護 ぐ り も る い 会 口 、 三 る 、 の め 期

会 ア を 、 長 ち り 議 す ア 定 し 議 る ら 術 な 議 8 海 あ 旨 長 の ア の こ 、 べ 、 と 談 ア 会 月 と 魅 觀 あ 待

談 ち 行 今 就 ア 組 長 る ち し た 定 と 、 さ の サ 、 り 発 は 問 に 問 と 日 ビ べ の ア ち 談 の と 力 光 ら す

ア っ 回 任 国 ん は 旨 ア 、 、 書 の 日 経 れ 成 ミ 地 、 言 、 題 後 題 を 本 ッ ビ 発 ア を メ も に 客 ち む る

国 た の へ 会 で 、 述 国 こ 他 を 説 本 濟 る 功 ッ 中 世 が 北 を 方 に 希 の ち ッ 言 大 行 シ に 対 も る 旨

会 。 公 の が い 山 べ 会 の 方 締 明 の 分 と を ト 海 界 あ 朝 抱 支 関 望 発 議 ち が 統 っ ッ 、 す 増 分 発

内 式 お E る 東 る は 五 、 結 を 経 野 と 祈 に 及 の っ 鮮 え 援 し す 展 長 議 な 領 た ち 日 る 加 野 言

に 招 祝 U こ 副 と 本 か N し 行 濟 で も る 関 び 環 た 問 て を て る の の 長 さ 府 。 大 本 認 し で し

べ 待 い 加 と 議 と 年 月 A 各 っ 的 の に 旨 し ド 境 。 題 お お も 旨 仕 訪 か れ た に メ 統 領 は が い 国 。

ビ へ の 盟 に 長 も 夏 間 T 国 た 発 協 、 、 ナ 問 関 へ 願 、 述 方 日 ら た 。 シ 領 の ク 広 る が

ッ の 意 の 敬 一 に ま で O の 。 展 力 北 さ ク U 題 関 、 い 両 べ を を 申 し っ 訪 口 ま 、 連

ち 感 を た 意 行 、 で 約 加 批 は 拡 朝 ら 口 河 に し 同 し 国 た 直 要 し っ 訪 口 ま 、 連





。の員ル員れ、いづの参国はのあき日策長日うを  
た行議一議らいつのれで種に行、政。会、交流  
し一席ア好めてに年じス各況先後国た盟でを交  
観長出ユ友務れ況昨ねンて状の中れ連間換の  
参議はり日りた状、「ラめい済そ対わ員の交間  
を副団・。仏た持政治はる。フ占し経、行議と見員  
内東員ユた院わを政長ゆた、を蔽がり価が好員意議た  
院山議デっ上に心の議わっは数は昇あ評換友議いびし  
でて本、行、年関本副い行ら多政上がの交日席な及認  
内し、後をは十な日東るをかが財の言ト見仏出の間確  
案断れの談長で大の山け明長派家格発ッ意ド、憚会を  
の中らそ会議ま多近、お説議国会価のミしーみ忌議と  
長をべ。、副年も最しにて副じ、油旨サ関ラ臨てのこ  
会議述べたしル一に、対後いル同が原る8にアにい国く程  
盟審がれ問一九流りに挙つーである・いG等ヴ会つ両い日子  
連、辞ら訪ア九交よの選にア院い料て、方、食に後ての原  
員はのえ敬ユ一問長た常等ユ両て原え策え後昼等今め他  
議で迎迎表りを会議れ通況り下め、与政考了迎係、深の  
好場歓でを・長議副ら員状・上進たを済る終歡関に層そ九  
友議と手長ユ会の同ね議のユ、をま安経す談の国も一  
日会介拍議デ盟国、尋院」デ在革、不の対会催両とり二  
仏本紹の副連両がて議会現改りに本に主仏とよ(二七  
つ工意シト抄をでの含クのソ問三

を受けた。ア共和国  
五、イタリヤ訪問、デ  
(一) 上院、二上院外交委員長との会  
談

七月十五日午前、上院の敬問を本訪問し、傍聴し、決しをた間近に  
控え、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
イデー、一重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
主上下、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
優越、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
見の、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
いる、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
る、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
る、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
等、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
で、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
立、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
論、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
の、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
つ、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
イ、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
三、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
一、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
人が、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
いが、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
イ、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
は、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
(二) 七月十四日、国立食品・栄養リサーチ等、口外交同研、所を、住  
訪、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
力の、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
の、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
り、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
方、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
日、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
六、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
る、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に

が、国のみならず地方における議員定数を含め、  
イタリヤは改革を検討すべき時期に来ているので  
は、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
(二) 七月十四日、国立食品・栄養リサーチ等、口外交同研、所を、住  
訪、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
力の、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
の、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
り、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
方、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
日、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
六、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に  
る、二重外交委員、案委員、審長、議を中表の問訪会議を、傍聴し、決しをた間近に

